



2017年1月31日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長CEO 畑中 好彦
コ ー ド 番 号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東 証 (第 一 部)
決 算 期 3月
問 合 わ せ 先 広報部長 臼井 政明
Tel : (03) 3244-3201

アステラス製薬 2016年度第3四半期決算カンファレンスコール資料について

アステラス製薬株式会社（本社：東京）は、本日（1月31日）、2016年度（2017年3月期）第3四半期決算（2016年4月1日から12月31日までの累計期間）を発表しました。これを受けて、本日14時00分より、添付資料にもとづき証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンスコールを開催します。

同資料には当第3四半期決算の概況並びに新薬パイプラインの進展状況等をまとめています。

以 上

2016年度第3四半期 決算概況



2017年1月31日
アステラス製薬株式会社
上席執行役員 財務担当 (CFO)
榎田 恭正

注意事項

2

この資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述及びその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知及び未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。様々な要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化及び関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品及び既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、この資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



本日の内容

3

I 2016年度第3四半期業績

II 持続的な成長に向けた取り組み

III 利益配分等に関する方針



2016年度第3四半期業績(コアベース)

4

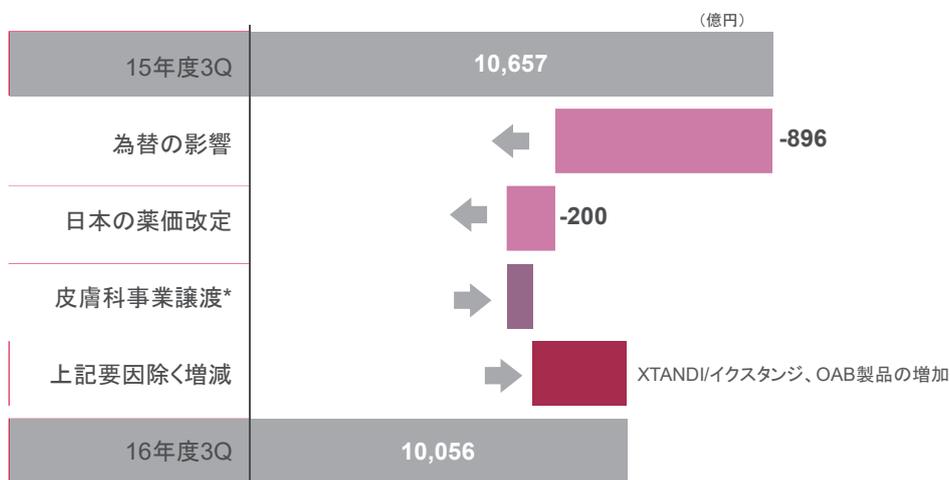
(億円)	15年度3Q	16年度3Q	増減率	16年度 予想*	進捗率	(参考) 為替の影響を 除いた増減率
売上高	10,657	10,056	-5.6%	13,000	77.4%	+3%
売上原価	2,705	2,508	-7.3%			
売上高比率	25.4%	24.9%	-0.4 ppt			
販売費及び一般管理費	3,627	3,367	-7.2%			
売上高比率	34.0%	33.5%	-0.6 ppt			
研究開発費	1,650	1,483	-10.1%	2,160	68.7%	
売上高比率	15.5%	14.7%	-0.7 ppt	16.6%		
無形資産償却費	332	267	-19.3%			
持分法による損益	-5	-13	-			
コア営業利益	2,339	2,418	+3.4%	2,740	88.3%	+18%
コア四半期純利益	1,694	1,772	+4.6%	2,020	87.7%	
為替レートの状況	15年度3Q	16年度3Q	変動	予想前提		
ドル:期中平均	122円	107円	15円高	103円		
ユーロ:期中平均	134円	118円	16円高	117円		
ドル:期首-期末変動	0円安	4円安				
ユーロ:期首-期末変動	1円安	5円高				
為替の影響						
				売上高:	-896億円	
				コア営業利益:	-336億円	



*2016年10月公表修正業績予想

売上高の前同比較

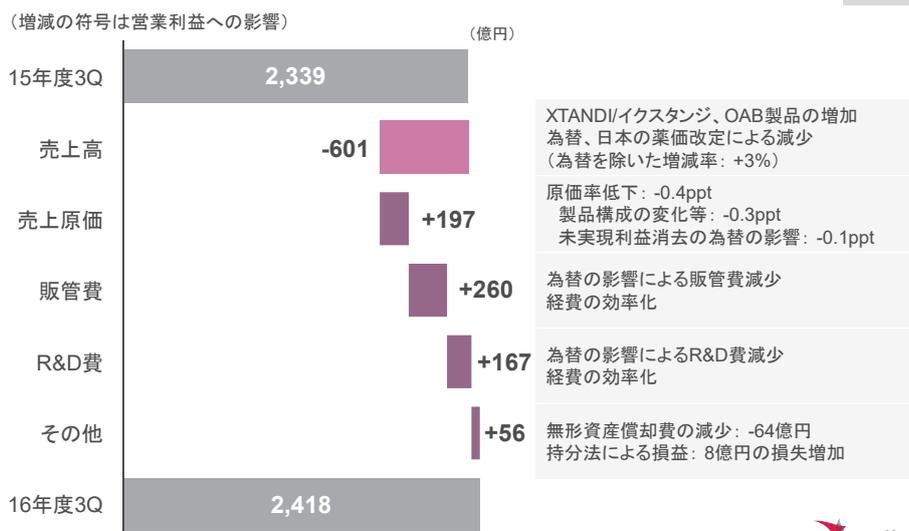
5



*皮膚科事業譲渡:(当期の繰延収益の償却) - (譲渡対象品目の前年同期売上高) OAB: 過活動膀胱
OAB製品: ベンケア+ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ

コア営業利益の前同比較

6



2016年度第3四半期業績(フルベース)

7

(億円)	15年度3Q	16年度3Q	増減率	16年度予想*	進捗率
売上高	10,657	10,056	-5.6%	13,000	77.4%
コア営業利益	2,339	2,418	+3.4%	2,740	88.3%
その他の収益	11	66			
その他の費用	194	171			
営業利益	2,156	2,313	+7.3%	2,670	86.6%
金融収益	138	140			
金融費用	9	14			
税引前利益	2,285	2,439	+6.8%	2,680	91.0%
四半期純利益	1,645	1,788	+8.7%	1,980	90.3%

その他の収益:
 ・ 16年度3Q: 為替差益(43億円)を計上
 その他の費用:
 ・ 16年度3Q: 有形固定資産の減損損失(77億円)、その他の無形資産の減損損失(41億円)を計上
 ・ 15年度3Q: 有形固定資産の減損損失(88億円)、為替差損(70億円)を計上
 金融収益:
 ・ 16年度3Q: 金融資産売却益(127億円)を計上
 ・ 15年度3Q: 金融資産売却益(121億円)を計上

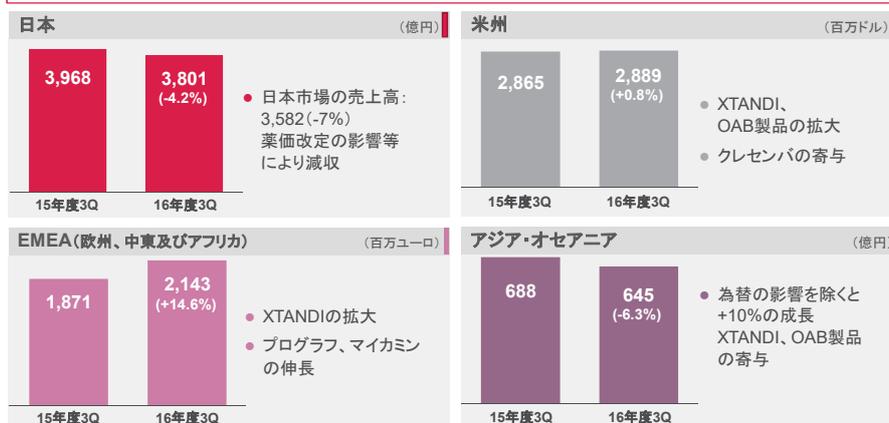


*2016年10月公表修正業績予想

地域別売上高(現地通貨ベース)

8

現地通貨ベースでは、米州、EMEA、アジア・オセアニアで順調に拡大



売上元会社の所在地に基づき集計

主要3領域の売上高

9

為替の影響を除くと各領域は順調に推移

(億円)	15年度3Q	16年度3Q	増減率	(参考) 為替の影響を 除いた増減率
がん領域フランチャイズ	2,427	2,323	-4%	+8%
XTANDI/イクスタンジ	1,888	1,892	+0%	+13%
泌尿器OABフランチャイズ	1,649	1,609	-2%	+8%
ベシケア	1,048	893	-15%	-6%
ペタニス/ミラベトリック/ベットミガ	601	716	+19%	+31%
移植フランチャイズ	1,575	1,422	-10%	+0%

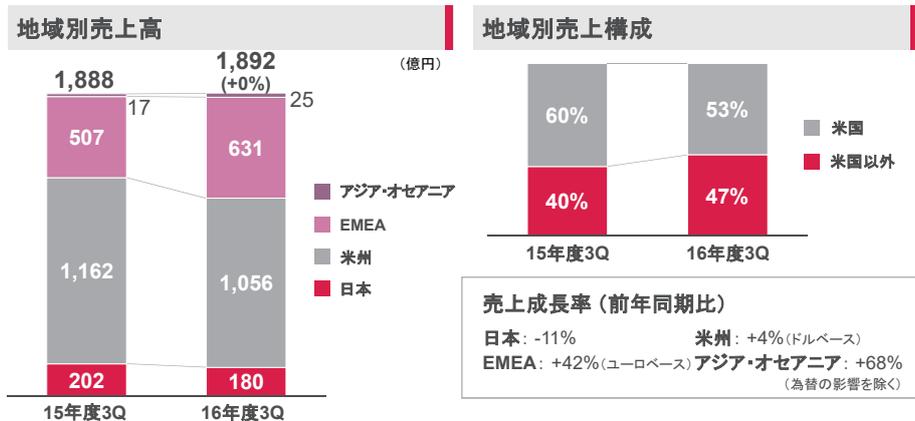


がん領域フランチャイズ:XTANDI/イクスタンジ、タルセバ、エリガード、ゴナックス
移植フランチャイズ:プログラフィ(アドバグラフィ/グラセプター/アスタグラフィXLを含む)

XTANDI/イクスタンジ

10

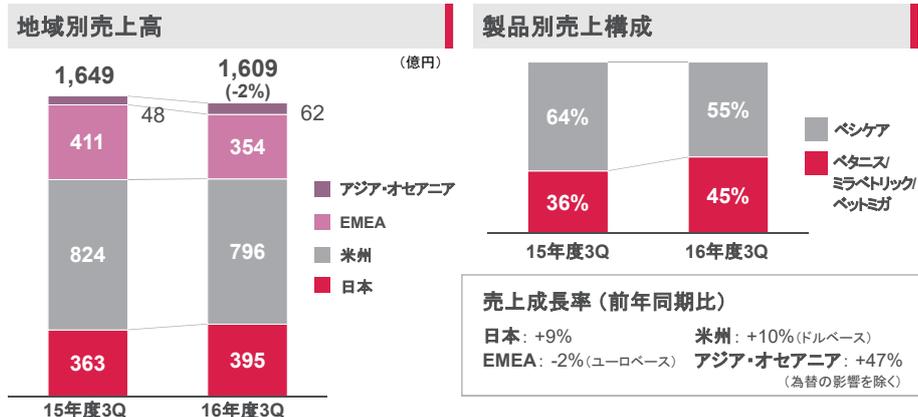
化学療法前の転移性去勢抵抗性前立腺がんで一層の浸透を目指す



泌尿器OABフランチイズ

11

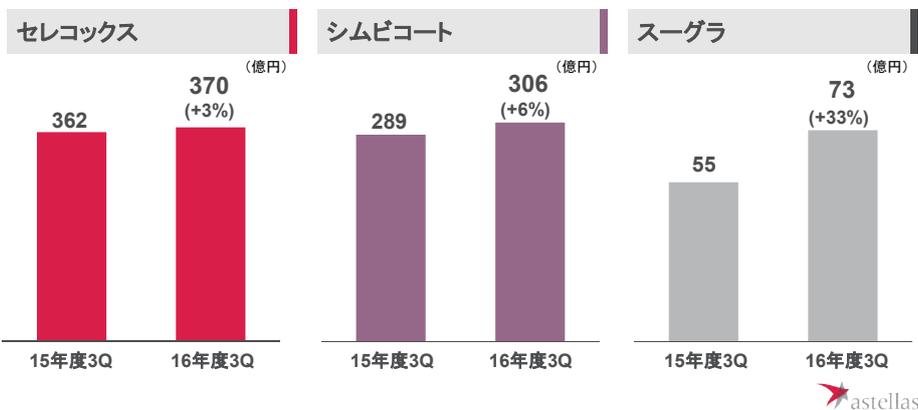
ペタニス/ミラベトリック/ペットミガの浸透促進によるフランチイズ強化



日本市場での売上高

12

薬価改定の影響等により日本市場の売上高は7%減少 主力品は順調に拡大



本日の内容

13

I 2016年度第3四半期業績

II 持続的な成長に向けた取り組み

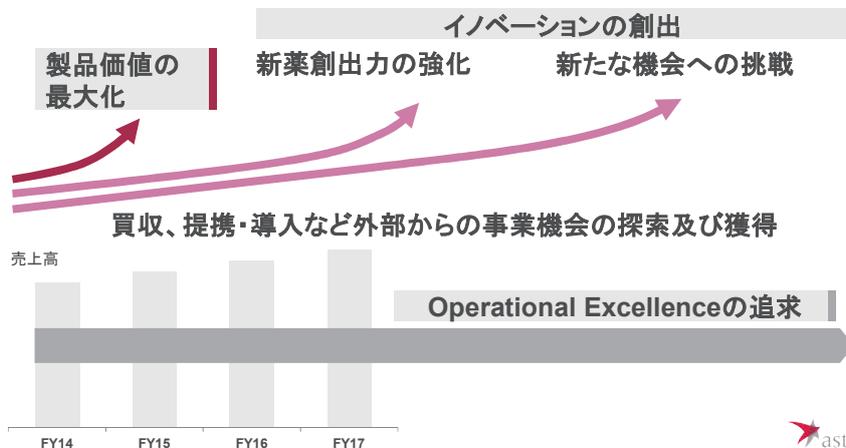
III 利益配分等に関する方針



持続的な成長を目指して (経営計画2015-2017 スライド再掲)

14

新製品群が中期的成長をけん引する。更に、イノベーションへの選択的投資と運営基盤強化を継続することで持続的な成長シナリオを盤石なものとする



戦略課題と最近の取り組み (前回決算発表からのアップデート)

15

製品価値の 最大化

- がん領域の強化(XTANDI/イクスタンジ)売上拡大、適応症の追加
- OABフランチャイズの最大化(ベシケア+ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ)売上拡大
- 各国での新製品の発売

イノベーションの 創出

[パイプラインの進展]

- 承認:
 - リンゼス(便秘型過敏性腸症候群、日本)
- 申請:
 - ロモソズマブ(日本)
- P3試験が着実に進展

[新たな取り組み]

- Ganymed Pharmaceuticals社買収の完了
- Auration社との慢性鼓膜穿孔を対象としたAU-935Iに関するライセンス契約の締結

Operational Excellence の追求

[経営資源の最適配分]

- QutenzaのGrünenthal社への譲渡

[組織・機能の見直し]

- 日本における運営管理業務のアウトソーシングとアステラスビジネスサービス株式会社の解散の決定



製品価値の最大化



継続的な新製品投入

17

EMEA	日本	米州
<p>[XTANDI、ベットミガの状況] XTANDI ・ TERRAINデータ SmPCへの反映 ・ 化学療法後適応： 41か国で発売 ・ 化学療法前適応： 20か国で発売 ベットミガ ・ 34か国で発売</p> <p>[2016年度の進展] XTANDI ・ 化学療法前適応： 発売(アイスランド)</p>	<p>[イクスタンジ、ベタニスの状況] イクスタンジ ・ 発売 ベタニス ・ 発売</p> <p>[2016年度の進展] レバーサ、ミカトリオ、キックリン顆粒 ・ 発売</p>	<p>[XTANDI、ミラベトリックの状況] XTANDI ・ 化学療法後適応： 14か国で発売 ・ 化学療法前適応： 10か国で発売 ミラベトリック ・ 6か国で発売</p> <p>[2016年度の進展] XTANDI ・ TERRAINデータ 添付文書への反映(米国) ・ 化学療法後適応： 発売(コロンビア、ボリビア、メキシコ) ・ 化学療法前適応： 発売(コロンビア、チリ) ミラベトリック ・ 発売(ブラジル)</p>
<p>アジア・オセアニア</p>		
<p>[XTANDI、ベットミガの状況] XTANDI ・ 化学療法後適応： 11か国/地域で発売 ・ 化学療法前適応： 7か国/地域で発売 ベットミガ ・ 9か国/地域で発売</p>	<p>[2016年度の進展] XTANDI ・ 化学療法後適応： 発売(台湾、インド、マレーシア、 <u>ブルネイ、タイ</u>) ・ 化学療法前適応： 発売(台湾、香港、マレーシア、 <u>ブルネイ、タイ</u>)</p> <p>ベットミガ ・ 発売(インドネシア)</p>	<p>発売国数: XTANDI/イクスタンジ：約70か国/地域 ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ：約50か国/地域</p> 

下部：前回決算発表からのアップデート

イノベーションの創出

新薬パイプライン

成長の基盤となるパイプライン

19

第 I 相試験

- ASG-15ME
- ASP5878
- AGS67E
- ASP4132
- AGS62P1
- ASP6282
- YM311/FG-2216 (日)
- ASP7398
- ASP6294
- ASP8302
- ASP5094
- ASP4345
- ASP4070
- ASP7266
- ASP0892
- ASP1807/CC8464

第 II 相試験

- エンザルタミド (乳がん、肝細胞がん)
- AGS-16C3F (腎細胞がん)
- プリナツモマブ(AMG 103) (急性リンパ性白血病、日)
- enfortumab vedotin (ASG-221ME) (尿路上皮がん)
- IMAB362 (胃食道逆流性疾患)
- YM311/FG-2216 (腎性貧血、欧)
- ASP8232 (糖尿病性腎症)
- bleselumab (ASKP1240) (IFSGS)
- peficitinib (ASP015K) (関節リウマチ、米欧)
- ASP7962 (変形性関節症)
- ASP8062 (線維筋痛症)
- ASP0819 (線維筋痛症)
- ASP3662 (アルツハイマー型認知症に伴う焦燥性興奮)
- ASP1707 (子宮内膜症、関節リウマチ)
- CK-2127107 (腎臓性筋萎縮症、COPD)
- RPE細胞プログラム (萎縮型加齢黄斑変性等)

第 III 相試験

- エンザルタミド (M0 CRPC, M0 BCR: 米欧並、M1 HSPC, TNBC: 米欧日並)
- デガレリクス (3か月製剤、日)
- ギルテリチニブ (ASP2215) (AML、米欧日並)
- ASP8273 (NSCLC、米欧日並)
- ソリフェナシン (小児神経因性膀胱、米欧)
- ソリフェナシン/ミラベグロン (併用療法、米欧並)
- ミラベグロン (小児神経因性膀胱、欧)
- ロキサデュスタット (ASP1517/FG-4592) (慢性腎臓病に伴う貧血、欧日)
- ASP0113/VCL-CB01 (HCT時CMV感染抑制、米欧日)
- peficitinib (ASP015K) (関節リウマチ、日並)
- フィダキソマイシン (感染症薬: 日、小児、欧)
- イブラグリフロジン/シタグリブチン (配合剤、日)
- イブラグリフロジン (1型糖尿病、日)
- リナクロチド (慢性便秘、日)

申請

- エンザルタミド (錠剤、欧日)
- クエチアピン (BP-D、日)
- ロモソズマブ(AMG 785) (骨粗鬆症、日)

疾患領域:

- がん
- 泌尿器、腎疾患
- 免疫科学、神経科学
- その他
- 新規分子/細胞成分

プロジェクトの記載は概要を示したものです。詳細はパイプラインリストをご参照ください。



IFSGS: 再発性巣状糸球体硬化症、COPD: 慢性閉塞性肺疾患、RPE: 網膜色素上皮、M0 CRPC: 非転移性去勢抵抗性前立腺がん、M0 BCR: 非転移性生化学的再発前立腺がん、M1 HSPC: 転移性ホルモン感受性前立腺がん、TNBC: トリプルネガティブ乳がん、AML: 急性骨髄性白血病、NSCLC: 非小細胞肺がん、CMV: サイトメガロウイルス、HCT: 造血細胞移植、BP-D: 双極性障害におけるうつ症状

開発の着実な進展

2016年10月から2017年1月までの変化のまとめ

20



開発中止等 (一部適応での中止を含む)

- ASP7374: 季節性インフルエンザの予防 (申請、日本) (UMNファーマとの共同開発及び独占的販売に関する共同事業契約の解約権を行使した。また、総合的な判断に基づき、製造販売承認申請を取り下げた。)
- ASP7373: インフルエンザ (H5N1) の予防 (第 II 相、日本) (UMNファーマとの共同開発及び独占的販売に関する共同事業契約の解約権を行使した。)
- ギルテリチニブ: 非小細胞肺がん (第 I 相) (併用療法における有害事象により、第 I 相試験を中止した。)
- ASP2205: 腹圧性尿失禁 (第 I 相)



最近のトピックス

21

リナクロチド

- 慢性便秘症患者を対象とした日本の第Ⅲ相試験の結果が判明。
 - 第Ⅲ相試験の主要評価項目を達成。
 - 安全性プロファイルは、リナクロチドのこれまでの臨床試験と同等の結果であった。

ASP0892

- 重篤なピーナツアレルギー反応の緩和を目的とした本剤の開発について、米国食品医薬品局 (FDA) よりファストラック指定を取得。
- 第Ⅰ相試験が進行中。



抗がん剤パイプライン

22

最も開発の進んでいる地域のフェーズ

	プロジェクト	がん種	特徴	P1	P2	P3
低分子	エンザルタミド	前立腺がん (非転移性去勢抵抗性、 非転移性生化学的再発、 転移性ホルモン感受性)、 乳がん、肝細胞がん	アンドロゲン受容体阻害剤	前立腺がん、TNBC		
	デガレリクス	前立腺がん	GnRHアンタゴニスト	3か月製剤: 日本		
	ギルテリチニブ	急性骨髄性白血病	FLT3/AXL阻害剤			
	ASP8273	非小細胞肺癌	変異選択的非可逆EGFR阻害剤			
	ASP5878	固形がん	FGFR阻害剤			
	ASP4132	進行がん				
抗体	IMAB362	胃食道接合部腫瘍がん	抗体 (標的: CLDN18.2)			
	AGS-16C3F	腎細胞がん	ADC技術を活用した抗体 (標的: ENPP3)			
	ブリナツモマブ	急性リンパ性白血病	抗CD19 BITE抗体			
	enfortumab vedotin (ASG-22ME)	尿路上皮がん	ADC技術を活用した抗体 (標的: ネクテン4)			
	ASG-15ME	尿路上皮がん	ADC技術を活用した抗体 (標的: SLITRK6)			
	AGS67E	悪性リンパ腫	ADC技術を活用した抗体 (標的: CD37)			
	AGS62P1	急性骨髄性白血病	ADC技術を活用した抗体 (標的: FLT3)			



ADC: 抗体-薬物複合体

エンザルタミド: 開発の進展

23

前回から下線部変更						
地域/フェーズ	対象	デザイン	P1	P2	P3	
前立腺がん	米欧亜 P3 [PROSPER試験]	M0 CRPC 非転移性去勢抵抗性前立腺がん	プラセボ対照、アンドロゲン除去療法 (ADT) との併用 (n=1,500)	患者組み入れ開始: 2013年11月		
	米欧亜 P3 [EMBARK試験]	M0 BCR 非転移性生化学的再発前立腺がん	ADT、ADT併用との比較 (n=1,860)	患者組み入れ開始: 2015年1月		
	米欧日亜 P3 [ARCHES試験]	M1 HSPC 転移性ホルモン感受性前立腺がん	プラセボ対照、ADTとの併用 (n=1,100)	患者組み入れ開始: 2016年3月		
乳がん	米欧日亜 P3 [ENDEAR試験]	トリプルネガティブ 遺伝子発現プロファイル検査陽性のトリプルネガティブ進行性乳がん	バクリタキセルとの併用又は単独療法、プラセボとバクリタキセルの併用と比較 (n=780)	準備中		
	米欧 P2	ER/PR陽性 エストロゲン受容体(ER)陽性又はプロゲステロン受容体(PR)陽性でHER2正常の進行性乳がん	プラセボ対照、エキセメスタンとの併用 (n=240)	患者組み入れ完了: 2015年4月		
	米欧 P2	HER2陽性 アンドロゲン受容体陽性、HER2陽性の進行性乳がん	オープン試験 (n=80)	患者組み入れ完了: 2016年8月		
肝がん	米欧亜 P2	肝細胞がん	プラセボ対照(n=144)	患者組み入れ完了: 2016年12月		



*試験を実施している地域



ギルテリチニブ: 開発の進展

24

前回から下線部変更						
地域/フェーズ	対象	デザイン	P1	P2	P3	
急性骨髄性白血病	グローバル P3 [ADMIRAL試験]	再発または治療抵抗性 一次治療後に再発、又は治療抵抗性でFLT3変異陽性	ランダム化オープン試験、単独療法と救援療法との比較(2:1) (n=369)	患者組み入れ開始: 2015年10月		
	米欧 P1/2 [CHRYSALIS試験]	再発又は治療抵抗性	用量漸増コホートと拡大コホート (n=258)	ASH2016で 最終結果を発表		
	日本 P1	再発又は治療抵抗性	用量漸増コホートと拡大コホート	患者組み 入れ完了		
	グローバル P2/3 [LACEWING試験]	初回寛解導入療法 非適応患者 新規診断、FLT3変異陽性	ランダム化オープン試験、3群(単独療法、アザシチジンとの併用、アザシチジン単独療法) (n=528)	患者組み入れ開始: 2016年11月		
	グローバル P3 [MORPHO試験]	造血幹細胞移植後の 維持療法 FLT3-ITD陽性	ランダム化二重盲検試験、 単独療法とプラセボとの比較 (1:1), n=346	準備中 Blood and Marrow Transplant- Clinical Trial Network (BMT-CTN) と 共同		
	グローバル P3 [GOSSAMER試験]	化学療法後の維持療法 FLT3-ITD陽性	ランダム化二重盲検試験、単独療法と プラセボとの比較(2:1) (n=354)	準備中		
	米国 P1	初回寛解導入療法適応患者 新規診断	寛解導入療法及び地固め療法との併用			
	日本 P1	初回寛解導入療法適応患者 新規診断	寛解導入療法及び地固め療法との併用			

*試験を実施している地域

FLT3:FMS様チロシンキナーゼ3、ITD:遺伝子内縦列重複変異



ENFORTUMAB VEDOTIN: 開発の進展 - 第Ⅱ相試験を2017年に開始予定 -

25

enfortumab vedotin

enfortumab vedotin (ASG-22ME)

- ネクテン4を標的とするADC技術を活用した抗体

標的

- ネクテン4は、接着分子であるネクチンファミリーに属するI型膜貫通タンパク質
- 正常組織においては、ばらつきはあるものの、多くは軽度から中等度に発現
- 膀胱がんでは高発現しており、組織マイクロアレイ(TMA)では83% (434/524) が陽性、60%で強度又は中等度の染色が認められた



SeattleGenetics

MMAE: モノメチルアウリスチン-E

開発の進展

計画

- 当局との相談を行い、申請可能な開発計画を策定
- チェックポイント阻害剤による治療歴がある患者を対象とした第Ⅱ相試験を実施

第Ⅰ相試験

- 非小細胞肺癌や卵巣がん等、ネクテン4の発現が認められる他の固形がんにおいて、第Ⅰ相試験の拡大コホートを継続

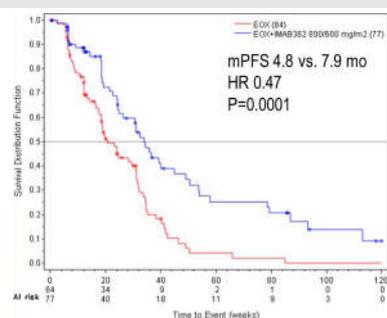


Ganymed社の買収完了

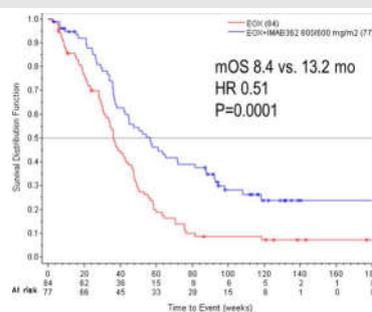
26

IMAB362: 第Ⅱ相 FAST試験における結果

無増悪生存期間：主要評価項目



全生存期間



- 第Ⅱ相試験で観察された主な有害事象は、嘔吐・悪心・好中球減少

次のステップについて、当局と相談を行う予定



Salah-Eddin Al-Batran *et al.* 2016 ASCO Annual Meeting
EOX: Epirubicin, Oxaliplatin, Capecitabine



2016年度に期待している パイプラインの主なイベント

27

*適宜、社内での評価・決定、当局との相談後に実施

データ判明とステージアップ*	申請*	当局の判断
<p>データ判明**</p> <p>ソリフェナシン/ ミラベグロン 第Ⅲ相長期試験 (SYNERGY II)</p> <p>エンザルタミド 第Ⅱ相試験 ER/PR 陽性乳がん</p> <p>ASP0113 第Ⅱ相試験 臓器移植時</p>	<p>ASP3662 第Ⅱ相試験 PDPN</p> <p>ASP8232 第Ⅱ相試験 DME</p> <p>ギルテリチニブ 第Ⅰ/Ⅱ相試験の最終 結果 AML</p> <p>ASP8273 第Ⅰ/Ⅱ相試験の最終 結果 非小細胞肺癌</p>	<p>ソリフェナシン 小児過活動膀胱 (米国)</p> <p>エンザルタミド 錠剤(日本)</p> <p>デガレリクス 3か月製剤(日本)</p> <p>ロモズマブ 骨粗鬆症(日本)</p> <p>クエチアピン 双極性障害における うつ症状(日本)</p> <p>フィダキソマイシン CDI(日本)</p>
<p>エンザルタミド TNBCで第Ⅲ相へ</p>	<p>リナクロチド 慢性便秘で第Ⅲ相へ</p>	<p>エンザルタミド TERRAIN(米国)</p> <p>エンザルタミド 錠剤(欧州)</p> <p>ソリフェナシン 小児過活動膀胱(欧州)</p> <p>ピキサロマー 顆粒製剤(日本)</p> <p>リナクロチド 便秘型過敏性腸症候群(日本)</p> <p>ASP7374*** 季節性インフルエンザ(日本)</p> <p>***UMNファーマとの共同事業契約の 解約権を行使した。</p>

**最終結果又はデータの評価終了
薄い色で記載したイベントは終了

PDPN: 糖尿病性神経障害に伴う疼痛、DME: 糖尿病黄斑浮腫、AML: 急性骨髄性白血病、
TNBC: トリプルネガティブ乳がん、CDI: クロストリジウム・ディフィシル感染症



社会的価値の創造



新たな取り組み：Access Acceleratedへの参画

29

保健医療へのアクセス向上に対する企業コミットメントの強化

Access Accelerated:

低所得国や低中所得国における非感染性疾患の予防、診断及び治療へのアクセス向上を目的とした、複数の企業や団体が参加するグローバルなイニシアティブ

大手医薬品企業21社と共に、世界銀行グループ及び国際対がん連合（UICC：Union for International Cancer Control）と連携し、非感染性疾患に関するアクセス課題を解決する方法を見出すことで、2030年までに非感染性疾患による早期死亡件数の3分の1を減少させるという国連の持続可能な開発目標の達成に向けて取り組む。



本日の内容

30

I 2016年度第3四半期業績

II 持続的な成長に向けた取り組み

III 利益配分等に関する方針



利益配分等に関する方針

31

- ・ 成長を実現するための事業投資を最優先
- ・ 中長期的な利益成長に基づき、配当は安定的かつ持続的に向上
- ・ 自己株式取得は機動的に実施

	2014年度	2015年度	2016年度(予想)
基本的1株当たり コア当期純利益	69.37 円	92.12円	95.60円
1株配当	30 円	32円	34 円 (予定)
親会社所有者帰属持 分当期純利益率 (ROE)	10.5%	15.0%	-
親会社所有者帰属持 分配当率(DOE)	5.1%	5.4%	-
自己株式取得 (単元未満株式買取分を除く)	38百万株 582億円	68百万株 1,193億円	機動的に実施 30百万株(459億円) (10-12月)
自己株式消却	25百万株	38百万株	68百万株 (6月)



持続的な成長の実現

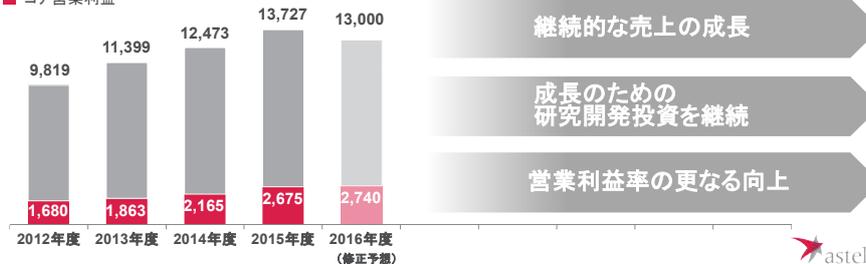
32

事業環境の変化にしなやかに対応し、持続的な成長を目指す

- ・ XTANDI/イクスタンジ、OAB製品がけん引し、ビジネスは順調に推移
- ・ 成長の源泉であるイノベーション創出のために、積極的な研究開発投資を継続
- ・ 経営資源配分の最適化、組織・機能の見直し、経費の一層の効率化等を通じ、オペレーションの一層の高質化・効率化を推進

売上高(億円)

■ コア営業利益



参考資料

フルベースからコアベースへの調整表

34

	(単位:億円)					
	16/3期 3Q			17/3期 3Q		
	フルベース	調整	コアベース	フルベース	調整	コアベース
売上高	10,657	-	10,657	10,056	-	10,056
売上原価	2,705	-	2,705	2,508	-	2,508
売上総利益	7,952	-	7,952	7,548	-	7,548
販売費及び一般管理費	3,627	-	3,627	3,367	-	3,367
研究開発費	1,650	-	1,650	1,483	-	1,483
無形資産償却費	332	-	332	267	-	267
持分法による損益	-5	-	-5	-13	-	-13
その他の収益 *1	11	-11	-	66	-66	-
その他の費用 *1	194	-194	-	171	-171	-
営業利益	2,156	183	2,339	2,313	105	2,418
金融収益 *2	138	-121	17	140	-127	13
金融費用 *2	9	-4	6	14	-4	10
税引前四半期利益	2,285	66	2,351	2,439	-18	2,421
法人所得税	639	18	657	651	-2	649
四半期純利益	1,645	48	1,694	1,788	-16	1,772

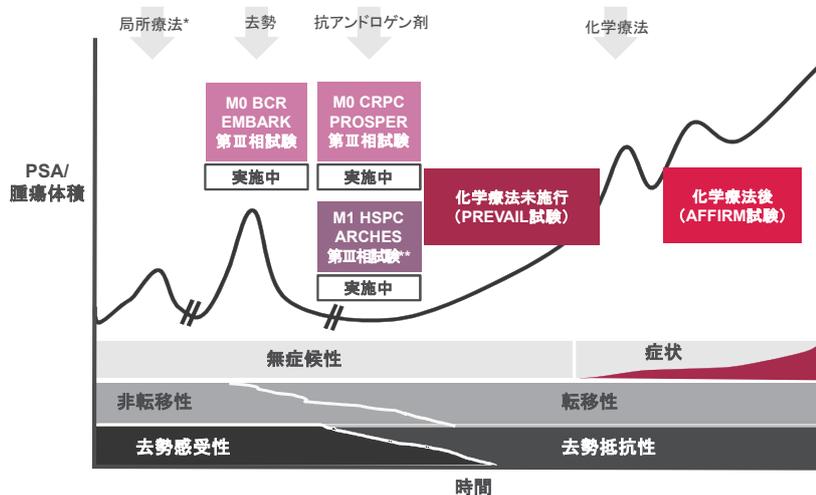
*1: コアベースの実績では「その他の収益」及び「その他の費用」は除外されています。

「その他の収益」及び「その他の費用」には、有形固定資産の除売却に伴う損益、減損損失、リストラクチャリング費用、訴訟関係費用のほか、為替差損益等が含まれています。

*2: 「金融収益」と「金融費用」の内、売却可能金融資産の売却に伴う損益や減損損失は、調整項目としてコアベースの実績では除外されています。

前立腺がんにおけるエンザルタミドの価値最大化

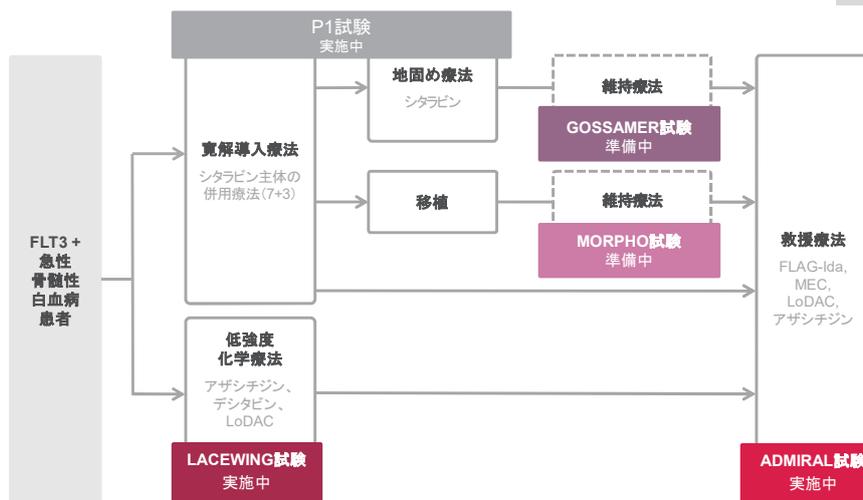
35



P. Mulders et al. EAU2012, modified by Astellas * 手術、放射線療法 PSA: 前立腺特異抗原
** 診断時に転移性

ギルテリチニブ: 急性骨髄性白血病の治療の流れ

36



7+3: シタラビン+イダルビシンもしくはダウノルビシン, LoDAC: 低用量シタラビン, FLAG-Ida: フルダラビン+シタラビン+G-CSF+イダルビシン, MEC: ミトキサントロン+エトポシド+シタラビン

変化する医療の最先端へ

